

TB-6050_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東武6050系
・野岩鉄道6050系
・会津鉄道6050系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)




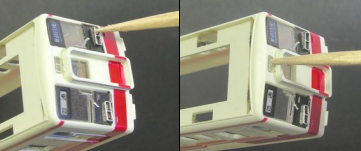
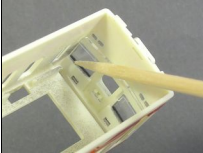



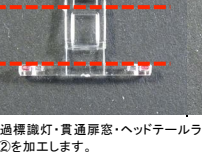
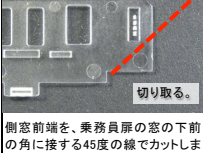
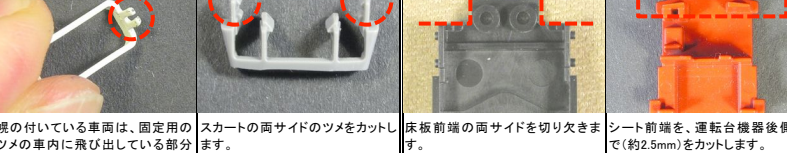




⚠️注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
・通過標識灯ユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)	・ボンチ(プッシュピンなども可)
・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・サンドペーパー
・ゴム系接着剤	・マスキングテープ
・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)	・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する			
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 側窓と屋根を外す	1-4 前面透明パーツを外す
			
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフが付いている車両は、内側から押して外します。	まず側窓を外します。次いで、屋根は、両サイドのツメを楊枝などで押して、外します。	前面は、運転席・助手席の窓が一体となったパーツ①と、通過標識灯・貫通扉窓・ヘッドテールライトが一体となったパーツ②の2つから構成されています。
1-4つづき		1-5 幌を外す	2. 車体を加工する。
			2-1 屋根板を加工する
次いで、パーツ①を外します。こちらは、内側から楊枝などで押すと、パーツが回転して外れます。		前面窓が回転している様子です。	2-1 屋根板裏側にある、通過標識灯を押さえられている2つのツメを削り取ります。
			
2-2 前面透明パーツ①を加工する		2-3 前面透明パーツ②を加工する	
			
運転席・助手席の窓が一体となった前面透明パーツ①を加工します。3mm×17mmのポリエステルテープを用意し、パーツ①の下辺をくるむように貼ります。		通過標識灯・貫通扉窓・ヘッドテールライトが一体となった前面透明パーツ②を加工します。ヘッドテールライトの上、通過標識灯下の穴の下側で、3分割します。ヘッドテールライトは使用しないので保管します。通過標識灯部分は、下側に残った2つの突起を削り取ります。	
必須ではありませんが、通過標識灯レンズの遮光をお勧めします。前面のベゼル部分の銀を塗料で塗り直し、脚部分を黒塗料で塗ります。			
3a. 床板を加工する			
2-4 側窓を加工する	2-5 幌を加工する	2-6 スカートを加工する	(トレーラー車の場合)
			
側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。カッターで数度備を付けてから折ります。	幌の付いている車両は、固定用のツメの車内に飛び出している部分を切り取ります。	スカートの両サイドのツメをカットします。取付けに際しては、ダミーカブラー部分にゴム系接着剤を併用します。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
			シート前端を、運転台機器後側まで(約2.5mm)をカットします。

3b. 動力ユニットの加工 (動力ユニットを組み込む場合)		4. ライトユニットを取り付ける		
4-1 通過標識灯周辺の遮光		4-2 通過標識灯レンズの取付	4-3 通過標識灯ユニットを取り付ける	
動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。 枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。		通過標識灯の周辺を黒く塗装します。	LEDが通過標識灯レンズに接するようにします。 通過標識灯ユニットの後端は、台座用のプラ板より少しはみ出るはずで。	
4-4 通過標識灯上側を遮光する		4-5 通過標識灯内側を遮光する		
16mm x 7mmのポリエステルテープを用意し、通過標識灯の上側を遮光します。 まず、張上げ屋根の上に少し垂れるようにテープを置きます。		次いで楊枝などを使って、テープを張上げ屋根の下側に押し込んでいきます。 完成の様です。 写真がわかりにくいですが、張上げ屋根の上に乗っていたテープがすべて内側に張り付いています。	まず、5mm x 5mmのポリエステルテープを用意し、通過標識灯レンズの窓を遮光します。基板の部品前端から、貫通扉にまたがるように、L字形に貼ります。 次いで、3mm x 15mmのポリエステルテープを用意し、通過標識灯レンズの両サイドを遮光します。	
4-6 幌をはめる	4-7 窓ガラスをはめる	4-8 ライトユニットをはめる		
幌のある車両は、このあたりで幌をはめます。ツメを切っているため、固定が緩い場合は、ゴム系接着剤を併用します。	運転席・助手席の窓が一体となった前面透明パーツ①をはめます。	貫通扉の窓ガラスをはめます。 固定できない場合、写真のように、両サイドの余白に両面テープを貼って、固定します。		
5. 配線する				
5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		5-2 側窓下にアルミテープを貼る	5-3 側窓をはめる	
5mm x 7mmのアルミテープを4本用意します。 側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。線棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。 両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。		3mm x 108mmのアルミテープを2本用意します 側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。 両側の側窓に貼ります。	側窓をはめます。 固定できない場合、両面テープを併用します。	

5-4 通過標識灯へ配線する	5-5 給電パッドの重ね貼り	5-6 ライトユニットへの配線	5-7 給電パッドの重ね貼り	5-8 側窓下の重ね貼り
1.5mm x 約30mmのアルミテープを使って、通過標識灯ユニットの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。 余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	通過標識灯ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm x 5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm x 12mmのアルミテープを用意し、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm x 4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm x 10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●テープを折り曲げながら貼る

L字形にテープを貼ります。	一辺を貼ります。	曲がり角で、一旦反対側に曲げます。	向きたい方向に、再度曲げます。	よく押さえて完成です。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。

